学校だより　文武

【めざす生徒像】～利他共生の精神から～
自分のよさを知り、友だちのよさにも
気付き、互いに伸ばし合っていく生徒

流れ星伝説

新年を迎えました。皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。ご存じの通り、元旦から能登半島に大きな地震が起き、重いニュースの中での年明けとなりました。被災された方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

今年度も残り２ヶ月あまりになりましたが、目指す生徒像に一歩でも近づけるように、職員一同精一杯頑張って参ります。今年もどうぞよろしくお願いします。

さて、新年を迎え、気持ちを新たに、自分の夢を実現させる意志のもち方について、始業式の校長講話で次のような話をしました。

◇◇◇◇

２０２４年は辰年です。正確には甲辰（きのえたつ）と言い、「これまでのコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木のようにすっくと伸びて、努力が花を咲かせる。」そんな年になるといわれているのです。長かったコロナ禍も本当に終わりが近づいてきました。今こそ、新しい時代を創り、明るい世の中にするために、皆で協力、協働できる年にしましょう。

さて、年頭にあたり、今日は「想いは招く」という言葉を紹介します。「流れ星に３回願いをかければ、願いが叶う」という流れ星伝説を知っていますね。そこには昔から語られている言い伝えがあるそうです。いつも天空にいる神様は、時々下界つまり人間の様子を気にかけているそうです。そして神がそっと下界を覗く時に漏れる天界の光が流れ星になり、その時に人間が願い事を口にすれば、その声が神様に届き、願い事が叶うというように考えたそうです。夢を実現するための「願い」とは、必ず実現させるという意志であり、それを強く持ち続けることの大切さを示しています。つまり流れ星を見つけたその一瞬に願う言葉が言えるぐらい　強く心に思い続けなければ、実現できないということになります。　願いをできるだけ具体的にイメージすることで自分の夢が見え、そのことが日々努力していく姿勢になり、実現に繋がります。「絶対にこんな自分になる」と強く願うことこそが、夢の実現への近道であり「想いは招く」となるのです。自分自身をしっかりとコントロールできる「自律した挑戦者」になることが、目標を達成する秘訣です。

皆さん一人ひとりが、それぞれの目標を達成してくれることを大いに期待しています。

立志式終了・・・十有五の志

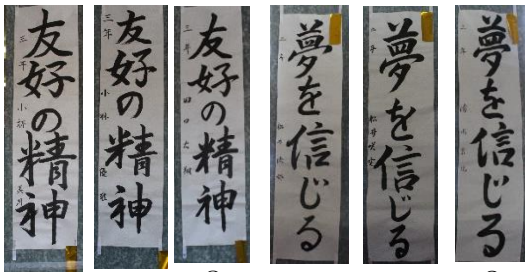
1月19日（金）に、川場中学校伝統の立志式を挙行いたしました。

この立志式は、「吾れ十有五にして学に志し・・」という論語の一節が語源であり、古来より大人への成長を願う元服の儀式として行われてきました。本校でもこの故事にならい、数え十五に当たる二年生を対象として、一人一人が心新たに夢と希望をもち、勉学・勤労に励み、社会の一員として、法や道徳を遵守する心や信念をもってもらおうと、毎年立春（古来、元服は立春に行っていた）に近い日に実施しているもので、今年で四十七回を数える伝統行事です。利根沼田管内では、本校と白沢中、沼田東中だけが行っています。チャレンジウィークを終了して、大人に一歩近づいた二年生の今だからこそ、気高く純粋で、真っ直ぐな、まさに青雲の志を立てることができるのだと思います。一人一人が前を見据えて、声高らかに、将来の夢や目標を宣言し、努力を誓いました。見守る教職員も身が引き締まる思いでした。

校内書き初め大会金賞作品

３学期始業式の日に、全校生徒による書き初め大会を行いました。金賞に輝いた優秀作品を紹介します。

1年生方　珠衣
勝田　莉央
河内　喜
横坂　友哉



2年清水　景悦
松井　咲空
松井　優都
3年田口　大翔
小林　優雅
小林　美月

おめでたいご報告です

昨年12月31日に産休中の角田章子先生に第2子（女の子）が誕生しました。おめでとうございます。

県中体連総体スキー大会の結果

男子大回転　2年中村　陽　23位
男子　回転　2年中村　陽　15位

『　人の世に　失敗ちゅうことは　ありゃせんぞ　』　坂本龍馬